

施策名	目標6-4 国際協調による取組						
施策の概要	POPs条約(残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約)や、現在制定に向けて国際交渉中の水銀条約などの化学物質関連条約について、関連する施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携及び諸外国との国際協力を図り、化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。						
達成すべき目標	化学物質関連条約に関する施策を推進するとともに、OECD、UNEP等の国際機関との連携を図り、化学物質による環境リスクを低減させる。また、東アジア地域を対象とした化学物質対策に係る国際協力により、有害化学物質による地球規模の環境汚染を防止する。						
施策の予算額・執行額等	区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	34	66	113	115	576
		補正予算(b)	0	0	△ 2		
		繰り越し等(c)	0	0	0	0	
		合計(a+b+c)	34	66	111	115	576
執行額(百万円)		30	92	111			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称		年月日		関係部分(抜粋)		
	平成22年度水俣病犠牲者慰霊式「祈りの言葉」(抜粋)(平成22年5月1日鳩山総理(当時))		平成22年5月1日		私は、水俣病と同様の健康被害や環境破壊が、世界のいずれの国でも繰り返されることのないよう、国際的な水銀汚染の防止のための条約づくりに積極的に貢献していく決意です。このため、まず来年1月に開催される第2回の交渉会議を我が国で開催することといたします。さらに、この条約の採択と署名を行うために2013年頃開催される外交会議についても我が国に招致することにより、「水俣条約」と名付け、水銀汚染の防止への取組を世界に誓いたいと思います。		

測定指標	1 化学物質に関する国際的プロジェクト等への貢献、連携の進捗状況	基準	施策の進捗状況(実績)					目標
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
		-	-	-	-	-	-	-
	年度ごとの目標値							
	2 アジア太平洋地域における物質管理等の進捗状況	基準	施策の進捗状況(実績)					目標
		年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度
		-	-	-	-	-	-	-
	年度ごとの目標値							
	3 GHSに基づく環境有害危険性分類を新規に実施した分類物質数	基準値	実績値					目標値
年度		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	年度	
-		-	184	332	266	232	-	
年度ごとの目標値			184	332	266	232		

目標の達成状況	<p>○平成23年1月に国際的な水銀規制に関する条約の制定に向けた第2回政府間交渉委員会を我が国で開催し、国際交渉に積極的に貢献するとともに、条約の採択・署名のために平成25年に開催予定の外交会議の我が国開催が了承された。</p> <p>○我が国の水俣病の経験や水銀対策について広報資料を作成・各国に配布する等、我が国の知見について積極的な情報発信を行った。</p> <p>○水銀廃棄物管理に関するUNEPパートナーシップにおいて、ガイダンス文書の策定を主導したほか、水銀等有害金属の高精度環境監視を実施するなど、国際的な有害金属対策に貢献した。</p> <p>○POPs条約については、条約の有効性評価に資するため、わが国を含む東アジア地域におけるPOPsモニタリングを継続するとともに、当該地域におけるPOPsモニタリングの協力体制を構築していくためにワークショップを開催した。</p>
---------	---

<p>施策に関する評価結果</p>	<p>目標期間終了時点の総括</p>	<p><今後の課題> ○条約の制定に向けて、アジア太平洋地域会合を我が国で開催するなど、水俣病経験国として、引き続き交渉に積極的に貢献する。また、平成25年に我が国で開催予定の外交会議に向けた準備を行う。さらに、有害金属の環境監視を引き続き行い、国際的取組のための科学的知見を充実させる。 ○POPs条約対応のため、新たにPOPs条約に追加された物質群のモニタリング等を行うとともに、国内実施計画の改定等を進める。 ○SAICM国内実施計画の策定を進める。また、アジア太平洋地域における地域コーディネーターとして、同地域におけるSAICM実施についてリーダーシップを発揮する。 ○GHSの普及のため、対象となる物質の分類を引き続き行うなど、関連する国内の取組を強化する。 ○OECD等について、引き続き、テストガイドラインの新規検討等の必要な検討及び対応を行う。</p>
-------------------	--------------------	--

<p>学識経験を有する者の知見の活用</p>	<p>水銀、POPs等に係る課題について、専門家による検討会を開催し、その検討結果を取組に反映。</p>
------------------------	--

<p>政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報</p>	<p>平成22年度水銀に関する国際的な法的枠組みの検討に係る調査業務報告書 平成22年度世界UNEPパートナーシップ対応業務報告書 平成22年度GHSに係る化学物質基礎データ整備等業務報告書</p>
----------------------------------	---

<p>担当部局名</p>	<p>環境保健部 環境安全課 環境保健部 化学物質審査室</p>	<p>作成責任者名</p>	<p>早水 輝好 和田 篤也</p>	<p>政策評価実施時期</p>	<p>平成23年 6月</p>
--------------	---	---------------	---------------------------------	-----------------	------------------------------